市議第2号

川瀬勝秀議長の不信任決議について

上記の議案を別紙のとおり、各務原市議会会議規則（昭和46年議会規則第1号）第14条の規定により提出します。

令和5年6月29日提出

提出者	各務原市議会議員	波多野こうめ
賛成者	〃	永治明子
賛成者	〃	杉山元則
賛成者	〃	古川明美

提案理由

去る6月23日、経済教育常任委員会において、同委員会の委員でもある川瀬勝秀議長は、委員会と協議会との合間ではあったが傍聴者である市民に対し威圧的な大声で「帰れ」と発言した。傍聴者は審査終了後、退席を求められ、それに応じてはいなかったが、その傍聴者に暴言ともいえるパワハラ発言で威圧したことは、議会人として許されるものではない。川瀬議長は議会の品位保持を重んじなければならない立場にある。川瀬議長に対して謝罪を求めたが、これを拒否した。こうした態度は容認できず、本市議会は、議長川瀬勝秀氏を信任しないことを決議する。

各務原市議会議長

川瀬勝秀様

川瀬勝秀議長の不信任決議

去る6月23日、経済教育常任委員会と協議会の合間において、同委員長は委員会審査を傍聴していた市民に対して「速やかな退場」を求めていました。その際、委員として参加していた川瀬議長は、その傍聴者に向かって威圧するかのよう大きな声で「帰れ」と発言しました。たとえ傍聴者が傍聴規則に沿わない行為をしていたとしても、このような威圧的なパワハラ発言は許されません。

会議規則142条には、「議員は、議会の品位を重んじなければならない」とされているのであり、議長はその議会の代表として、議会における秩序の保持や規律の保持を誰よりも重んじなければならない立場にありながら、自ら市民に向かって威圧的な態度で暴言ともいふべき言辞を發したことは、許されるものではありません。

川瀬議長に対して反省、謝罪を求めましたが、これを拒否されました。こうした態度も問題であり容認できません。

よって、本市議会は、議長川瀬勝秀氏を信任しないことを決議します。

令和5年6月29日

岐阜県各務原市議会